

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	皮膚原発扁平上皮癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	<b>Skin cancer of the head and neck with clinical perineural invasion</b>	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	SCC-CQ9-8、SCC-CQ10-10	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー/メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究 (コホート研究や症例対照研究による) V. 記述研究 (症例報告やケースシリーズによる) VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 ( I V )	
	Pubmed ID	10758309	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Int J Radiat Oncol Biol Phys	
	雑誌 ID		
	巻	47	
	号	1	
	ページ	89-93	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2000 年	
	著者情報		氏名
筆頭著者		McCord MW	フロリダ大学
その他著者 1		Mendenhall WM	同上
その他著者 2		Parsons JT	同上
その他著者 3		Amdur RJ	同上
その他著者 4		Stringer SP	同上
その他著者 5		Cassisi NJ	同上
その他著者 6		Million RR	同上
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の8項目	目的	頭頸部原発の神経浸潤の症状を呈する皮膚癌における治療成績を解析する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	フロリダ大学	
	対象者	<p>頭頸部原発の神経浸潤の症状を呈する皮膚癌 62 例</p> <p>上顎神経(27 例)、顔面神経 (22)、その他 (19)</p> <p>原発部位：頬部(18 例)、口唇(12)、頭皮(9)、耳周囲(8)、その他</p> <p>T 病期：全例 T4</p> <p>N 病期：N0(45 例)、N1(4)、N2(3)</p> <p>初回治療例 21 例、再発症例 42 例</p>	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	<p>1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児</p> <p>7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年</p> <p>9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年</p> <p>11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人</p> <p>13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人</p> <p>16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人</p> <p>19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人</p> <p>22.年齢区別せず (14)</p>	
	介入 (要因曝露)	<p>初回治療例 21 例</p> <p>放射線療法単独：12 例、手術＋術後放射線療法：9 例</p> <p>再発症例 41 例</p> <p>放射線療法単独：18 例、手術＋術後放射線療法：21 例、術前放射線療法＋手術：2 例</p> <p>照射法：外照射単独：23 例、外照射＋組織内照射：4 例、組織内照射単独：3 例</p> <p>1 日 1 回照射：46 例</p> <p>1 回線量 1.86 Gy、総線量 33.3-79.5 Gy (平均 67.58 Gy)</p> <p>1 日 2 回照射：13 例</p> <p>1 回線量 1.14 Gy、総線量 69.6-79.2 Gy (平均 74.4 Gy)</p>	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1	局所制御率	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
2	再発形式	1.主要 2.副次 3.その他 (3)	
3	領域リンパ節再発	1.主要 2.副次 3.その他 (3)	
4	遠隔転移	1.主要 2.副次 3.その他 (3)	
5	生存率	1.主要 2.副次 3.その他 (3)	
6	有害事象	1.主要 2.副次 3.その他 (3)	
7		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
8		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
9		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
10		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	

	<p>主な結果</p>	<p>局所再発率：45%（局所のみ：39%）  局所再発に与える予後因子：年齢、再発例、臨床的神経浸潤の兆候、治療法（手術+照射 vs. 照射単独）  領域リンパ節再発：11%  遠隔再発：1例のみ（局所再発も伴っていた）  10年生存率：31%、10年疾患特異生存率：46%  有害事象：11例で重篤な有害事象あり（骨壊死、脳障害、穿孔）</p>
	<p>結論</p>	<p>神経症状を呈する多くの症例で、不完全切除に終わった。約半数の症例で根治的放射線療法単独または、手術との併用により治癒させることができた。年齢、再発例、臨床的神経浸潤の兆候は予後に関与していた。</p>
	<p>備考</p>	<p>術前照射は2例のみ。</p>
<p>レビュワーコメント</p>	<p>レビュワー氏名</p>	<p>鹿間 直人</p>
	<p>レビュワーコメント</p>	<p>組織内照射を併用した症例が多く見られるためか有害事象がやや多い印象。  レベル IV</p>